

金沢大学教職大学院

金沢大学大学院教職実践研究科 教職実践高度化専攻



地域の学校教育の
ニーズにあわせて2023年4月
金沢大学教職大学院が
新しくなりました

現代の教育が直面している課題に挑戦する 教職実践知の創造

金沢大学教職大学院は2023年4月より、従来の2コース制を発展的に改編し、内容の多様性を総合する「探究教育」と、人の多様性を尊重する「共生教育」の2領域からのアプローチで、現代の教育課題に協働で取り組むことのできる、専門的知識と実践的指導力を有する高度専門職業人の養成を目指しています。

新しい特徴

1 世界を広げる 学び合い

様々な経験をもつ院生と教員が、授業・文献調査・フィールドワーク・ディスカッションを通じて、隣接諸科学の知見や諸領域の実践知と繋がりあう学びにより、「教育」に在る新たな価値を見出します。

2 新しい時代に 対応する 2領域

高度化科目として、探究教育領域と共生教育領域を設定。両領域の理論と実践を学んだ上で、いずれかを選んでさらに深めることができます。

3 クォーター制 による 効果的な学習

1年間で4クォーターに分け、ステップアップしながら学びます。学習の流れやまとまりを大切にしつつ、各科目に集中してじっくり取り組むことができます。

探究教育領域

様々な課題に挑む中で広く深い学習を実現し、物事の本質を見極めることを目指します。子どもたちが探究的かつ創造的に学びを深められるように、ICTを活用し、多様な分野の知見を総合させて教育実践力を育てます。

共生教育領域

学校や地域社会で多様な人々が互いに認め合いともに生きていくための教育環境の更新を目指します。子ども、同僚、社会の人々の多様性や協働に目を向け、次世代をつくるより良い教育環境を構築する教育実践力を育てます。

履修モデル

1年目

大学院GS
基盤科目
(1単位)

基盤科目
(20単位)

高度化科目
(8単位)

総合科目 (4単位)

実習科目 (2単位)

2年目

総合科目
(4単位)

実習科目
(8単位)

実践
研究
報告書

※現職院生は、所属先で勤務を行いながら指導を受けます。
学部卒院生(ストレートマスター)は、週2回程度実習校で実習を行います。
いずれも週1回程度大学で総合科目を履修します。

• 実践と理論とを往還し、より良い教育を創造する

• 探究的な学習を支援する

• 共生的な学校・学級づくりに取り組む



カリキュラムについて

教育に関する理論と実践の往還を実現する教育課程として、「基盤科目」「高度化科目」「実習科目」「総合科目」の4種類の科目群を設けています。また、国際社会で活躍するリーダー育成という金沢大学の教育方針を示す「金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS)」を基に開発した「大学院 GS 基盤科目」も履修します。

大学院 GS (グローバル・スタンダード) 基盤科目		必修科目	選択必修・選択科目
基盤科目 教育の本質的な理論と最新の実践を学ぶ5領域を設けます。各領域の必修科目に加えて、キャリアや関心に応じて選択できる選択科目を置きます。また、総合大学としての研究成果を活かし、実践的な学校課題に対応する専門的な科目を置きます。	(1) 教育課程の編成・実施 (2) 教科等の実践的指導法 (3) 生徒指導、教育相談 (4) 学級経営、学校経営 (5) 学校教育と教員の在り方	研究者倫理	
		カリキュラムの理論と実践	地域教育支援プロジェクト
		地域教育実践	教育評価研究
		授業研究とICT活用	
		発達障害の理解と対応	
	特別支援学校教諭専修免許状取得にかかる科目	スクールソーシャルワーク論と実践	スクールソーシャルワーク研究
		学校マネジメントの理論と実践	学校組織研究
			学校危機管理論
		現代教育課題研究	
		特別支援教育の専門知識*	
高度化科目 両領域の理論と実践を学んだ上で、いずれかの領域についてフィールドワークやプロジェクトを通してさらに深く学びます。	探究教育領域	探究教育の理論と実践	地域社会と探究フィールドワーク
		探究教育の理論と実践	学校組織と探究教育のデザイン
	共生教育領域	探究教育プロジェクト	探究教育プロジェクト
		共生教育の理論と実践	子ども社会と共生フィールドワーク
		共生教育の理論と実践	学校組織と共生教育のデザイン
		共生教育プロジェクト	共生教育プロジェクト
実習科目 学校における実務経験を通して教職への理解を深め、実際に実践と省察を行うために実習を行います。1年次は、全学校種の教育課程を有する本学附属学校園で実施し、2年次には、県下の連携協力校で実施します。	学校実習Ⅰ	学校実習Ⅱ-A	
		学校実習Ⅱ-B	
	特別支援学校実習Ⅰ*	特別支援学校実習ⅡA*	
		特別支援学校実習ⅡB*	
総合科目 多様な科目での学習内容を発展的に統合するために、長期にわたって多様な視点から理論と実践を往還します。	実践カンファレンスⅠ		
	実践カンファレンスⅡ		
	共生教育カンファレンスⅠ*		
	共生教育カンファレンスⅡ*		
	実践研究Ⅰ		
	実践研究Ⅱ		

※特別支援学校教諭専修免許状対応科目



院生の声



学部卒院生

2024年度
入学

有馬 大さん

どの授業でも受講者が主体となって探究する活動が多く行われています。ディスカッションやプロジェクトワークなど、積極的なコミュニケーションが奨励されていて、意見やアイデアを自由に発表し合いどんどん理解が深まります。また、年齢、校種、性別などに関わらず、多様な人が集まっているので、異なる経験や価値観を持つ人同士のコミュニケーションが促進されて、多角的な視点や考え方に触れる機会が豊富です。さらに、教授は学生一人一人に対して非常に丁寧に接して下さり、講義時間はもちろんのこと、講義外でも個別の相談を快く引き受けて下さいます。大学よりも専門性が高いため、関心がある教育課題や社会問題にフォーカスしやすく、日々教育観や将来に自信がついていっていると実感しています。



現職院生

2023年度
入学

石川県立野々市明倫高等学校
西井 陽一さん

これまでは教員としての目線だけで、授業やクラス運営を考えていました。しかし教職大学院での学びを通して、「誰のための教育か」という視点を得ることができました。大学院2年目となり、授業や院生同士のディスカッションを通して得た視点や知識とともに、新鮮な気持ちで学校現場に戻りました。日々の教育活動の中で、アフォーダンス理論に基づいた探究のための授業環境整備、生徒の協働を基盤とした共生的な学級づくりなど、「子どもの最善の利益」の実現に取り組んでいます。これからも自身の研究を進めながら、教職大学院での学びを生徒や学校現場に還元したいと思います。

修了生の声



現職修了生

2023年度
修了

石川県立金沢伏見高校
橋本 優子さん

教職大学院での学びは、教育が求める価値とその可能性を改めて考えさせてくれました。1年目はさまざまな学問分野の理論と出会い、自身の教育観が揺さぶられました。また、校種・年代の異なる院生同士が学びを分かち合った「院生通信」は今も7期生の財産です。2年目は現場に戻り「生徒の当事者意識をエンパワーする学校組織づくり」を主題に実践を行いました。教師と生徒が対話を通して共感的人間関係を再構築し、補完的にエンパワーし合うこと、学力や生徒指導の困難さとは別に、生徒の良さを認め、信じ、任せることで生徒が主体的に変容する可能性が明らかになりました。この学びを糧に、生徒と共に、当たり前や前年踏襲をリフレームしながら新しい価値を創造する組織を目指します。



現職修了生

2023年度
修了

金沢市立戸板小学校
大井山 恵さん

私は、教職大学院のたくさんある魅力のうち2つを紹介します。1つ目は、自分の実践を立ち止まって考える時間を得られることです。疑問に感じてきたことや学びたいことにじっくり向き合える時間は、現職教員にとって非常に価値があります。また異分野融合による視野の広がりも大学院だからこそ得られたものだと感じています。2つ目は、地域や校種の異なる院生仲間や大学院の先生方との対話から得られる気づきです。多様な価値観に触れ、共感的に対話し、批判的に捉え直すことで自分の教育観や子ども観を再構築することができました。本音で語り合った院生仲間は修了した今も大切な仲間です。

概要

金沢大学大学院 教職実践研究科 教職実践高度化専攻

■ 入学定員 15名（内訳 現職教員10名／学部卒5名）

■ 学費（予定額） 入学科：282,000円
授業料：535,800円（年間）

■ 奨学金制度 （学外）日本学生支援機構
（学内）入学科・授業料免除制度

■ 所在地 石川県金沢市角間町

■ 取得できる学位 ・教職修士（専門職）

■ 取得できる
教員免許状

- ・高等学校教諭専修免許状
- ・中学校教諭専修免許状
- ・小学校教諭専修免許状
- ・幼稚園教諭専修免許状
- ・特別支援学校教諭専修免許状

※専修免許の取得には、原則、取得したい専修免許状と同一教科、かつ同一学校種別の一種免許状を取得していることが必要です。事前にご確認・ご相談ください。

お問い合わせ

金沢大学人間社会系事務部学生課

[入試関係] 入試・学生募集担当 Tel：076-264-5600 E-mail：n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

[教務関係] 大学院・留学支援担当 Tel：076-264-5455 E-mail：n-daigakuin@adm.kanazawa-u.ac.jp

<https://pdte.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

